

一般質問通告者一覧表(令和8年6月)

発言 順位	発言者氏名	発 言 要 旨	質問方法
1	永井 大介	<p>1 陸上自衛隊松山駐屯地について</p> <p>(1) 自衛隊に対する評価について問う。 (2) 松山駐屯地や愛媛地方協力本部との関わりについて問う。 (3) 自衛隊の募集行為に対する対応について問う。 (4) 住民基本台帳に基づく情報の提供方法について問う。 (5) 採用説明会の実施について問う。 (6) 自衛官という職業に対する小中学生の知識の啓蒙について問う。 (7) 市主催イベントなどを活用した自衛隊関係者との交流促進について問う。</p> <p>2 北朝鮮拉致問題について</p> <p>(1) 北朝鮮拉致問題に対する所見を問う。 (2) 「北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解促進と広報啓発の推進を求める決議」への対応について問う。 (3) 県民シンポジウムへの参加申込み人数と参加人数を問う。 (4) 署名簿用紙の扱いと署名提出数を問う。</p> <p>3 ホルムズ海峡封鎖に伴う本市経済への影響について</p> <p>(1) 海峡封鎖問題の影響を受ける市経済に対する調査・分析について問う。 (2) 今後の対応について問う。 (3) 各種団体や金融機関との連携による市況調査と対応準備への取組について問う。</p>	一問一答

一般質問通告者一覧表(令和8年6月)

発言 順位	発言者氏名	発 言 要 旨	質問方法
2	浜田 瑠華	<p>1 商業施設や大学等を活用した期日前投票と投票しやすい環境整備について</p> <p>(1) 本市における近年の選挙投票率の推移及び若年層を中心とした投票率の現状分析について問う。</p> <p>(2) 商業施設等を活用した期日前投票所設置の検討状況について問う。</p> <p>(3) 愛媛大学医学部等と連携した若年層向け期日前投票所設置の可能性について問う。</p> <p>(4) 若い世代が通学や日常生活の動線上で自然に投票できる環境整備に対する認識について問う。</p> <p>(5) 商業施設や大学等への期日前投票所設置にあたっての課題認識について問う。</p> <p>(6) キッズスペース設置やベビーカー利用への配慮など、子育て世代が投票しやすい環境整備について問う。</p> <p>(7) 本市における主権者教育の現状及び今後の取組について問う。</p> <p>2 青切符制度導入を踏まえた自転車通行環境の整備と安全確保について</p> <p>(1) 自転車が安全に車道通行することが難しい道路の把握状況について問う。</p> <p>(2) 自転車通行環境の整備状況について問う。</p> <p>(3) 国道・県道を含めた広域的な道路整備における関係機関との連携について問う。</p> <p>(4) 国・県に対する要望及び主体的な働きかけの状況について問う。</p> <p>(5) 道路の危険箇所(路面の凹凸・段差等)に関する市民からの情報提供を受けた場合の対応及び対応に要する時間について問う。</p> <p>(6) 市民が道路の危険箇所等を情報提供する手段について問う。</p> <p>(7) LINEやアプリ等を活用した通報機能の有無及び今後の導入への意向並びに費用及び課題について問う。</p> <p>(8) 自転車専用レーンの整備率について問う。</p> <p>(9) 自転車の安全対策全体に関する数値目標及び進行管理について問う。</p> <p>(10) 通学路における自転車の安全確保の体制について問う。</p> <p>(11) 自転車通行空間の整備に関する今後の方針について問う。</p> <p>(12) 幅員が狭い道路における安全対策及び交通環境改善の取組について問う。</p> <p>(13) 青切符制度導入に伴う市の周知及び啓発の取組について問う。</p> <p>(14) 学校教育現場における自転車交通ルールの周知及び安全教育の取組について問う。</p> <p style="text-align: right;">(次頁に続く)</p>	一問一答

一般質問通告者一覧表(令和8年6月)

発言 順位	発言者氏名	発 言 要 旨	質問方法
2	浜田 瑠華	<p>3 市の借金(市債)の状況と将来負担を踏まえた財政運営について</p> <p>(1) 実質公債費比率の現状の水準及び県内での順位に対する評価並びに今後の目標値について問う。</p> <p>(2) 本市の市債残高のこれまでの推移について問う。</p> <p>(3) 市債残高のうち、交付税措置のある市債とない市債の内訳について問う。</p> <p>(4) 市債残高における交付税措置率ごとの内訳について問う。</p> <p>(5) 地方交付税措置を考慮した場合に、本市が一般財源で実質的に負担することとなる市債の未償還残高について問う。</p> <p>(6) 市債残高の適正水準及び財政規模に対する許容範囲について問う。</p> <p>(7) 市債残高・公債費・実質公債費比率の今後の推移見込み、増減の方向性及びピーク時期の見通しについて問う。</p> <p>(8) ピーク時における償還計画について問う。</p> <p>(9) 市債発行に係る年度ごとの上限又は抑制基準の有無について問う。</p> <p>(10) 市債発行にあたっての基準及び判断の考え方について問う。</p> <p>(11) 将来の維持管理コストを含めたトータルの負担をどのように判断基準に盛り込んでいるのかについて問う。</p> <p>(12) 今後の市債発行及び財政運営の管理方針について問う。</p> <p>(13) 本年度発行予定の市債について、交付税措置を踏まえた実質的な一般財源負担額について問う。</p> <p>(14) 近年発行してきた市債のうち、交付税措置のない起債の有無並びに有る場合の事業内容、金額及び理由について問う。</p>	一問一答
3	森田 和幸	<p>1 部活動地域展開の学びを支える支援制度について</p> <p>(1) ラーケーションの調査状況と今後の活用について問う。</p> <p>(2) 実態把握と経済格差・送迎負担への具体的な対応について問う。</p> <p>(3) 文化部地域展開における受皿の整備と機会の確保について問う。</p> <p>(4) 平日の大会・発表会参加における「出席・公欠」および「内申点」の統一見解について問う。</p> <p>(5) 学校教育課から生涯学習課への主管移行に伴う具体的な役割と引継ぎについて問う。</p> <p>(6) 地域移行にふさわしい東温市独自の学びの支援制度創設について問う。</p>	一問一答

一般質問通告者一覧表(令和8年6月)

発言 順位	発言者氏名	発 言 要 旨	質問方法
4	渡部 一恵	<p>1 スマートヘルスケア事業の成果と今後の展開について</p> <p>(1) スマートヘルスケア事業の利用実績、利用者属性、継続利用状況及び成果の検証について問う。</p> <p>(2) ホームページや区長会等における周知による利用申込みや相談件数への効果について問う。</p> <p>(3) 公民館や地域住民からの要望等の把握及び事業への反映について問う。</p> <p>(4) MaaS車両を活用した地域での健康支援及び交通弱者へのアウトリーチ型支援の考え方について問う。</p> <p>2 市ホームページ等による情報発信の効果検証と改善について</p> <p>(1) 市ホームページのアクセス数、閲覧者数、スマートフォン利用割合及び閲覧数の多いページなどの把握状況について問う。</p> <p>(2) ホームページ及びLINE等による情報発信の分析や効果測定の実施状況について問う。</p> <p>(3) ホームページ掲載後の申込みや相談など、情報発信の成果把握について問う。</p> <p>(4) 市民向け情報について、利用者視点に立った情報提供及びスマートフォン利用を前提とした改善の考えについて問う。</p> <p>(5) 既存アプリや民間サービスの活用も含め、市民が必要な情報へたどり着きやすい情報発信の今後の方針について問う。</p>	一問一答
5	渡部 勇次	<p>1 各種行政計画の策定業務の委託について</p> <p>(1) 各種行政計画の策定業務における外部委託の現状を問う。</p> <p>(2) 東温市第3次総合計画策定業務委託料の内訳と高額となった理由を問う。</p> <p>(3) 各種行政計画における策定業務委託料の削減の方策を問う。</p> <p>2 教員からの駐車料金の徴収について</p> <p>(1) 教員が学校の敷地内に自家用車を止める場合に駐車料金を徴収しているが、本年度の徴収見込み人数と総額及び徴収理由を問う。</p> <p>(2) 教員については駐車料金を免除とすることが妥当だと考えるが、それに対する見解を問う。</p> <p>3 東温スポーツフィールド整備事業について</p> <p>(1) 公園整備費の予算が、当初見込みから大幅な増額となった理由を問う。</p> <p>(2) サッカーグラウンドの天然芝の維持管理計画と費用について問う。</p> <p>(3) 天然芝のサッカーグラウンドの整備による収益化を図る仕組みづくりと成果の「見える化」の方向性を問う。</p> <p>(4) サッカーグラウンドの整備における熱中症対策について問う。</p>	一問一答

一般質問通告者一覧表(令和8年6月)

発言 順位	発言者氏名	発 言 要 旨	質問方法
6	大西 正之	<p>1 難病患者支援と福祉情報の提供について</p> <p>(1) 本市における難病患者数の現状把握について問う。</p> <p>(2) 第3次東温市総合計画における難病患者支援の位置付けと今後の施策展開について問う。</p> <p>(3) 障がい福祉サービス等利用者の心情に配慮した行政文書の表現改善について問う。</p> <p>(4) 難病患者やその家族が求めるホームページにおける情報提供や案内表記の充実について問う。</p> <p>(5) ホームページ等を活用した分かりやすい福祉情報の発信について問う。</p> <p>2 組織改編後の組織運営について</p> <p>(1) 組織改編の経緯と検証について問う。</p> <p>(2) 組織横断的な連携と意思決定のあり方について問う。</p> <p>(3) 組織改編後の現場状況の把握について問う。</p>	一問一答
7	丹生谷 美雄	<p>1 はしご自動車の共同運用への提言について</p> <p>(1) はしご車の購入後の経過年数、定期点検、オーバーホールの期間と金額、更新計画年度と更新時の想定金額について問う。</p> <p>(2) はしご車の災害現場への出場件数と災害の内容、中高層建築物への出場実績、市内の中高層建築物の総数、地区ごとの分布と棟数を問う。</p> <p>(3) 単独運用と共同運用の効果と整備費の比較を問う。</p> <p>2 鳥獣害への取組について</p> <p>(1) 市内の野生鳥獣の個体数、被害額、計画と捕獲実績の比較、被害などの特徴、豚熱の感染状況について問う。</p> <p>(2) 狩猟免許の取得者数、実働者の数、高齢化の現状、若者の参入状況、狩猟者の高齢化対策に係る取組状況、猟銃所持者の現況と課題、ICTの活用の現状について問う。</p> <p>(3) 侵入防止柵の補助制度の見直し等について問う。</p> <p>(4) 猿の大型捕獲檻の設置、駆除後の処理方法について問う。</p>	一問一答

一般質問通告者一覧表(令和8年6月)

発言 順位	発言者氏名	発 言 要 旨	質問方法
8	高須賀 広一	<p>1 学校運営協議会について</p> <p>(1) 学校運営協議会の協議状況について問う。 (2) 設置後5年経過時点における現状と課題等について問う。 (3) 統廃合に関して出された意見等を教育委員会に提出することについて問う。 (4) 職員のオブザーバー参加について問う。 (5) 公立幼稚園等に学校運営協議会を設置していない理由及び設置に向けた検討について問う。</p> <p>2 高齢者等ごみ出しサポート事業等について</p> <p>(1) 申込み状況やごみの回収方法等支援体制について問う。 (2) 支援体制の連携強化の検討状況について問う。 (3) 対象者の基準の見直しについて問う。 (4) ごみ屋敷のような住宅の当事者に対する行政指導について問う。</p> <p>3 第2次東温市地域公共交通計画について</p> <p>(1) 事業19等において、具体的な計画ができなかった理由について問う。 (2) 今年度の具体的な取組について問う。</p>	一問一答

一般質問通告者一覧表(令和8年6月)

発言 順位	発言者氏名	発 言 要 旨	質問方法
9	小島 建三	<p>1 ナフサ危機、物価高騰から市民の暮らし、営業、農業を守るための方策について</p> <p>(1) ナフサ由来の石油製品の物価高騰、製品不足が中小業者の事業や市民生活にどのような影響を与えているか、市として把握している実態や影響などを問う。</p> <p>(2) 県のような担当課を横断した対策チームのような組織を立ち上げ、中東情勢の激変による東温市内の業者や市民への影響について、調査・分析を行い、対策を立てる考えはあるかを問う。</p> <p>(3) ナフサ由来の資材高騰、資材不足、食料品等の諸物価高騰に対し、営業と市民生活を守るために市としてどのような対策をとる考えかを問う。</p> <p>(4) 市として、「重点支援地方交付金」をさらに積み上げるよう政府に求める考えを問う。</p> <p>(5) 財政調整基金など市の独自財源を活用して、上水道代の基本使用料の減免を半年間延長することについて問う。</p> <p>(6) ホルムズ海峡封鎖が、東温市の農業に影響を及ぼす可能性の認識、その影響に対する市の対策を問う。</p> <p>2 小中学校の給食費無償化について</p> <p>(1) 東温市で現在の給食の質を落とさず維持するために給食費負担軽減交付金で不足する額は、市全体では、年間いくらかになるかを問う。</p> <p>(2) 重点支援地方交付金の東温市への交付額と、現在の残高を問う。</p> <p>(3) 重点支援地方交付金を使い、今年度の小学校学校給食費の保護者負担分を軽減、もしくは負担をなくす考えを問う。</p> <p>(4) 中学校の学校給食費を無償化する考えを問う。</p> <p>(5) 小中学校の給食費無償化を恒久的財源で措置するよう国に強く求めることを問う。</p>	一問一答